

2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年7月28日
東・名

上場会社名 カゴメ株式会社 上場取引所
 コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山口 聡
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 佐伯 健（TEL）03-5623-8503
 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	91,926	3.5	7,114	11.9	6,944	1.0	4,739	3.6	7,899	97.1
2020年12月期第2四半期	88,816	0.3	6,358	17.1	6,874	△4.2	4,572	△16.2	4,007	△19.7
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭		円 銭							
2021年12月期第2四半期	53.05		52.96							
2020年12月期第2四半期	51.66		51.57							

（注）事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、当社の経常的な事業の業績を測る利益指標です。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	204,900	117,164	115,130	56.2
2020年12月期	224,913	112,651	110,976	49.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	36.00	36.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	2.7	13,700	0.7	13,700	28.2	9,000	21.2	100.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	94,366,944株	2020年12月期	94,366,944株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	5,016,883株	2020年12月期	5,027,707株
③ 期末発行済株式数(自己株式控除後)	2021年12月期2Q	89,350,061株	2020年12月期	89,339,237株
④ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	89,340,768株	2020年12月期2Q	88,523,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報等)	16
(重要な後発事象)	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2019年12月期から3年間を対象とする中期経営計画のもと、「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業」を目指しております。中期経営計画の基本戦略である①収益力強化の継続、②新事業・新領域への挑戦による成長に取組み、更なる企業価値の向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日）における売上収益は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることを背景に、健康志向の高まりや巣ごもり需要により堅調に推移しました。また、『野菜をとろうキャンペーン』の推進による国内における需要喚起の効果もあり、主に国内加工食品事業において、前年同期から増収となりました。国際事業については主にKAGOME INC.（米国）が、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ外食需要が回復基調にあることに伴い、増収となりました。

事業利益（※）は、国内加工食品事業において、『野菜をとろうキャンペーン』推進による広告宣伝費及び販売促進費の増加により減益となったものの、国際事業において、増収及び原価低減等により、前年同期から増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、前年同期比3.5%増の919億26百万円、事業利益は前年同期比11.9%増の71億14百万円となりました。営業利益は、前年同期に投資不動産売却による固定資産売却益があったことにより反動減があったものの、前年同期比1.0%増の69億44百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比3.6%増の47億39百万円となりました。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、経常的な事業の業績を測る利益指標です。

セグメント別の業績の概況は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、前期まで国内加工食品事業の食品他に含めておりました、通販事業を独立開示するセグメント区分の変更をしております。当社は、同セグメントを成長期待事業として位置付けており、経営管理上の重要性が増したことによります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	売上収益			事業利益（△は損失）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
飲料	36,457	37,189	732	3,560	3,514	△45
通販	5,563	6,011	447	363	399	35
食品他	21,657	21,780	123	1,622	1,357	△265
加工食品 計	63,678	64,981	1,303	5,546	5,271	△275
農	5,353	4,989	△363	239	100	△139
その他	422	577	155	200	22	△178
消去及び調整(注1)	△2	△44	△42	—	—	—
国内事業 計	69,451	70,504	1,052	5,987	5,394	△593
国際事業	22,578	25,719	3,140	371	1,720	1,349
消去及び調整(注2)	△3,213	△4,296	△1,083	—	—	—
合計	88,816	91,926	3,110	6,358	7,114	756

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

<国内事業>

国内事業の売上収益は、前年同期比1.5%増の705億4百万円、事業利益は、前年同期比9.9%減の53億94百万円となりました。各事業別の状況は以下の通りであります。

① 加工食品事業

加工食品事業では、飲料や調味料等の製造・販売を手掛けております。

当事業における売上収益は、前年同期比2.0%増の649億81百万円、事業利益は、前年同期比5.0%減の52億71百万円となりました。

[飲料：「野菜生活100」シリーズ、トマトジュース、野菜一日これ一本、他]

野菜飲料においては、日本における野菜摂取量を「あと60g増やす」ことを目指した『野菜をとろうキャンペーン』を推進し、積極的に広告を投下しました。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による健康に対する関心の高まりもあり、飲用機会の増加につながりました。「野菜生活100」シリーズにおいては、「野菜生活100 Smoothie ビタミンスムージー」を3月に発売し、好調に推移しました。また、「野菜一日これ一本」についても、好調に推移しています。

以上により、飲料カテゴリーの売上収益は、前年同期比2.0%増の371億89百万円、事業利益は、主に『野菜をとろうキャンペーン』の展開による広告宣伝費の増加により、前年同期比1.3%減の35億14百万円となりました。

[通販：野菜飲料、サプリメント、スープ等の通信販売]

通販カテゴリーでは、主に、野菜飲料、サプリメント、スープなどの製造・販売を行う通信販売「健康直送便」を手掛けております。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う通販チャネル利用の拡大及び健康志向の高まりにより、つぶより野菜などの野菜飲料、スルフォラファンなどのサプリメント、スープなどが好調に推移しました。

以上により、通販カテゴリーの売上収益は、前年同期比8.0%増の60億11百万円となりました。事業利益は、前年同期比9.7%増の3億99百万円となりました。

[食品他：トマトケチャップ、トマト調味料、ソース、贈答品、他]

食品カテゴリーにおいては、前期から引き続きトマトケチャップやパスタソースが好調を維持しており、加えて、当期はナポリタスタジアムの実施などによるメニュー訴求の強化も行いました。しかしながら、3月以降、前期のコロナ禍における内食機会急増の反動減があり、前期を下回りました。

業務用カテゴリーにおいては、依然として外食需要の回復は遅れておりますが、前期の落ち込みによる反動により、増収増益となっております。

ギフト・特販カテゴリーにおいては、帰省代替需要の高まりや受託製品が好調に推移し、増収増益となりました。

以上により、食品他カテゴリーの売上収益は、前年同期比0.6%増の217億80百万円、事業利益は、前年同期比16.4%減の13億57百万円となりました。

② 農事業

農事業では、主に生鮮トマト、ベビーリーフ等の生産・販売を手掛けております。なお、2021年1月1日に当社農事業を会社分割によりカゴメアグリフレッシュ株式会社に移管し、同社を農セグメントの中核会社としております。

当第2四半期連結累計期間は、生鮮トマトの市況の低迷により販売単価が低下したことにより、売上収益、事業利益ともに前期を下回りました。

以上により、当事業の売上収益は、前年同期比6.8%減の49億89百万円、事業利益は前年同期比58.0%減の1億円となりました。

③ その他事業

その他事業には、不動産事業、業務受託事業が含まれております。

売上収益は、前年同期比36.8%増の5億77百万円、事業利益は前年同期比89.0%減の22百万円となりました。

<国際事業>

国際事業では、トマトの種子開発から農業生産、商品開発、加工、販売事業を展開しております。

主な子会社における現地通貨建業績の概要は以下の通りです。KAGOME INC. (米国)は、増収増益となりました。米国は、コロナワクチン接種者の増加に伴う経済活動の急速な回復により、外食需要も持ち直しつつあります。これにより同社の出荷量が回復したことに加え、生産性の向上も利益拡大に貢献しました。Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. (ポルトガル)は、前期に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い食品メーカー向け販売が好調に推移した反動により減収となりましたが、販売価格が上昇したことなどにより、増益となりました。Kagome Australia Pty Ltd. (豪州)は、グループ向けに販売しているニンジン濃縮汁の生産規模拡大に伴い、増収増益となりました。United Genetics Holdings LLC (米国)は、主に欧州、中東における種子販売が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

以上により、当事業における売上収益は、前年同期比13.9%増の257億19百万円、事業利益は、前年同期比363.3%増の17億20百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間は、資産合計につきましては、前期末に比べ200億12百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、前期末に比べ256億34百万円減少いたしました。

これは、主に「営業債権及びその他の債権」が18億15百万円増加したものの、「現金及び現金同等物」が、前期実行した新型コロナウイルス感染症拡大による資金調達環境の逼迫等に備えた短期借入金の返済や、配当金や法人所得税の支払いなどにより264億11百万円、「棚卸資産」が18億71百万円、それぞれ減少したことによります。

非流動資産につきましては、前期末に比べ56億22百万円増加いたしました。

これは、主に当社の製造設備の更新などにより「有形固定資産」が44億76百万円、保有株式の時価の上昇などにより「その他の金融資産」が15億32百万円、それぞれ増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ245億24百万円減少いたしました。

これは、主に「営業債務及びその他の債務」が10億21百万円増加したものの、先述の通り短期借入金の返済により、「借入金」が271億29百万円減少したことによります。

資本につきましては、前期末に比べ45億12百万円増加いたしました。これは、主に剰余金の配当により32億19百万円減少したものの、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」により47億39百万円、主要通貨に対する円安が進行したことなどにより「その他の資本の構成要素」が25億92百万円、それぞれ増加したことによります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は56.2%、1株当たり親会社所有者帰属持分は1,288円54銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、303億56百万円となり、前連結会計年度末比で264億11百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、89億31百万円の純収入（前年同期は73億90百万円の純収入）となりました。これは、主に税引前四半期利益が69億86百万円となったこと、減価償却費及び償却費が35億90百万円となったこと、棚卸資産が29億26百万円減少したこと（以上、キャッシュの純収入）、営業債権及びその他の債権が13億95百万円増加したこと、法人所得税等の支払いにより22億78百万円支出したこと（以上、キャッシュの純支出）によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、58億11百万円の純支出（前年同期は1億13百万円の純収入）となりました。これは、主に有形固定資産及び無形資産の取得（投資不動産含む）により59億41百万円支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、308億96百万円の純支出（前年同期は105億76百万円の純収入）となりました。これは、主に先述の通り短期借入金の純減少により291億88百万円、配当金の支払いにより32億13百万円、それぞれ支出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月3日の「2020年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想から以下の通り修正致します。

	売上収益 (百万円)	事業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	186,000	13,100	13,300	8,800	98.50
今回修正予想 (B)	188,000	13,700	13,700	9,000	100.74
増減額 (B-A)	2,000	600	400	200	2.24
増減率 (%)	1.1	4.6	3.0	2.3	2.3
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	183,041	13,599	10,682	7,425	83.73

当業績予想の修正については、国際事業において、主に米国の外食需要の回復が進んでいることにより、売上収益及び各段階利益について上方修正致します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	56,768	30,356
営業債権及びその他の債権	40,104	41,919
棚卸資産	42,304	40,433
未収法人所得税	180	189
その他の金融資産	407	996
その他の流動資産	1,800	2,037
流動資産合計	141,567	115,932
非流動資産		
有形固定資産	52,571	57,047
無形資産	3,546	3,480
その他の金融資産	14,795	16,328
持分法で会計処理されている 投資	7,176	7,468
その他の非流動資産	3,325	3,260
繰延税金資産	1,930	1,381
非流動資産合計	83,345	88,967
資産合計	224,913	204,900
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	33,681	34,703
借入金	47,465	20,335
未払法人所得税	2,851	2,588
その他の金融負債	810	907
その他の流動負債	7,429	6,992
流動負債合計	92,238	65,527
非流動負債		
長期借入金	5,459	7,494
その他の金融負債	3,655	3,448
退職給付に係る負債	5,755	5,822
引当金	1,088	1,056
その他の非流動負債	872	1,004
繰延税金負債	3,190	3,381
非流動負債合計	20,023	22,209
負債合計	112,261	87,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	22,723	22,781
自己株式	△12,351	△12,322
その他の資本の構成要素	2,888	5,480
利益剰余金	77,730	79,206
親会社の所有者に帰属する持分	110,976	115,130
非支配持分	1,674	2,033
資本合計	112,651	117,164
負債及び資本合計	224,913	204,900

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	88,816	91,926
売上原価	56,610	58,162
売上総利益	32,206	33,764
販売費及び一般管理費	25,795	26,766
持分法による投資損益(△は損失)	△51	116
事業利益	6,358	7,114
その他の収益	1,053	224
その他の費用	537	395
営業利益	6,874	6,944
金融収益	297	393
金融費用	285	351
税引前四半期利益	6,887	6,986
法人所得税費用	2,261	2,019
四半期利益	4,625	4,966
四半期利益の帰属		
親会社所有者	4,572	4,739
非支配持分	53	227
合計	4,625	4,966
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	51.66	53.05
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	51.57	52.96

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	47,952	50,203
売上原価	30,381	31,810
売上総利益	17,571	18,392
販売費及び一般管理費	13,244	13,585
持分法による投資損益(△は損失)	27	124
事業利益	4,355	4,931
その他の収益	253	127
その他の費用	141	152
営業利益	4,467	4,905
金融収益	111	127
金融費用	140	73
税引前四半期利益	4,438	4,959
法人所得税費用	1,358	1,422
四半期利益	3,079	3,536
四半期利益の帰属		
親会社所有者	2,961	3,384
非支配持分	118	152
合計	3,079	3,536
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.51	37.88
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	33.46	37.81

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	4,625	4,966
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△14	331
持分法適用会社のその他の包括利益 持分	22	△44
合計	8	286
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△467	972
ヘッジコスト	438	335
在外営業活動体の換算差額	△596	1,335
持分法適用会社のその他の包括利益 持分	△0	3
合計	△626	2,646
その他の包括利益(税引後)合計	△618	2,933
四半期包括利益(△は損失)	4,007	7,899
四半期包括利益の帰属		
親会社所有者	4,004	7,541
非支配持分	3	358
合計	4,007	7,899

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	3,079	3,536
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	738	65
持分法適用会社のその他の包括利益持 分	—	—
合計	738	65
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	214	199
ヘッジコスト	119	△89
在外営業活動体の換算差額	305	△24
持分法適用会社のその他の包括利益 持分	△0	0
合計	639	85
その他の包括利益(税引後)合計	1,377	150
四半期包括利益(△は損失)	4,457	3,687
四半期包括利益の帰属		
親会社所有者	4,311	3,500
非支配持分	146	186
合計	4,457	3,687

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					合計
				確定給付 制度の 再測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する 金融資産 の純変動	キャッ シュ・ フロー・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	
2020年1月1日残高	19,985	22,669	△13,529	—	4,410	△226	944	△1,539	3,589
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	22	△14	△467	438	△546	△568
四半期包括利益	—	—	—	22	△14	△467	438	△546	△568
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△21	—	—	△21
自己株式の取得	—	△1	△1,435	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	182	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬	—	36	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	△1	—	△22	—	—	—	—	△22
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	33	△1,253	△22	—	—	—	—	△22
2020年6月30日残高	19,985	22,702	△14,783	—	4,395	△714	1,382	△2,086	2,977

(単位:百万円)

	親会社の所有者に 帰属する持分		非支配 持分	資本合計
	利益 剰余金	合計		
2020年1月1日残高	75,629	108,344	3,041	111,386
四半期利益	4,572	4,572	53	4,625
その他の包括利益	—	△568	△49	△618
四半期包括利益	4,572	4,004	3	4,007
非金融資産等への振替	—	△21	—	△21
自己株式の取得	—	△1,437	—	△1,437
自己株式の処分	—	182	—	182
剰余金の配当	△3,113	△3,113	—	△3,113
株式報酬	—	36	—	36
利益剰余金への振替	24	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△3,089	△4,332	—	△4,332
2020年6月30日残高	77,112	107,995	3,045	111,040

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素						合計
				確定給付 制度の 再測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する 金融資産 の純変動	キャッ シュ・ フロー・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額		
2021年1月1日残高	19,985	22,723	△12,351	—	4,654	25	655	△2,446	2,888	
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	△44	331	972	335	1,207	2,801	
四半期包括利益	—	—	—	△44	331	972	335	1,207	2,801	
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△254	—	—	△254	
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—	—	—	
自己株式の処分	—	4	30	—	—	—	—	—	—	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
株式報酬	—	53	—	—	—	—	—	—	—	
利益剰余金への振替	—	—	—	44	—	—	—	—	44	
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
所有者との取引額合計	—	57	28	44	—	—	—	—	44	
2021年6月30日残高	19,985	22,781	△12,322	—	4,985	743	990	△1,239	5,480	

(単位:百万円)

	親会社の所有者に 帰属する持分		非支配 持分	資本合計
	利益 剰余金	合計		
2021年1月1日残高	77,730	110,976	1,674	112,651
四半期利益	4,739	4,739	227	4,966
その他の包括利益	—	2,801	131	2,933
四半期包括利益	4,739	7,541	358	7,899
非金融資産等への振替	—	△254	—	△254
自己株式の取得	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	34	—	34
剰余金の配当	△3,219	△3,219	—	△3,219
株式報酬	—	53	—	53
利益剰余金への振替	△44	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△3,263	△3,133	—	△3,133
2021年6月30日残高	79,206	115,130	2,033	117,164

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,887	6,986
減価償却費及び償却費	3,275	3,590
受取利息及び受取配当金	△270	△250
支払利息	238	209
持分法による投資損益(△は益)	51	△116
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△725	212
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,811	△1,395
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,022	2,926
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	271	211
その他	△1,110	△1,007
小計	8,828	11,368
利息及び配当金の受取額	251	235
利息の支払額	△196	△394
法人所得税等の支払額	△1,492	△2,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,390	8,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による 支出(投資不動産含む)	△3,131	△5,941
有形固定資産の売却による収入 (投資不動産含む)	3,792	128
事業譲受による支出	△499	—
関係会社株式及び出資金の取得による 支出	△10	△65
その他の金融資産の取得による支出	△236	△23
その他の金融資産の売却及び償還による 収入	174	85
その他	24	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	113	△5,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	15,908	△29,188
長期借入による収入	115	2,211
長期借入金の返済による支出	△843	△372
リース債務の返済による支出	△257	△332
配当金の支払額	△3,092	△3,213
自己株式の純増減額(△は増加)	△1,253	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,576	△30,896
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,080	△27,777
現金及び現金同等物の期首残高	27,260	56,768
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	△28	1,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,312	30,356

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内において、飲料や調味料の製造・販売を行っている加工食品事業、トマトを中心とした生鮮野菜の生産・販売を行っている農事業の2つを主たる事業としております。また、トマトの種子開発から農業生産、商品開発、加工、販売までの垂直統合型ビジネスを国際事業として展開しております。なお、当社グループは製品、顧客等の要素及び限界利益率等の経済的特徴の類似性を考慮し、飲料、通販及び食品他については事業セグメントを集約して「加工食品」を報告セグメントとしております。

したがって、当社グループは国内事業である「加工食品」、「農」、「その他」及び「国際事業」の4つを報告セグメントとしております。

また、セグメント利益は、「事業利益(※)」であり、取締役会は事業利益に基づいて事業セグメントの業績を評価しております。

なお、当連結会計年度に国内農事業の戦略等の意思決定の迅速化、経営資源の集中と効率的な活用、強固なガバナンス体制の確立等を目的として、当社農事業を会社分割により連結子会社であるカゴメアグリフレッシュ株式会社に移管し、同社を農セグメントの中核会社としております。

これに伴い、前連結会計年度以前は、当社共通費用の一部を売上収益等の合理的な基準により農セグメントに配賦しておりましたが、当連結会計年度は、当社共通費用の農セグメントへの配賦はしていません。また、当該セグメントの組織変更に伴い、直接費の取扱いについても変更が生じております。

※「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えた、経常的な事業の業績を測る利益指標です。

各報告セグメントの主要な製品は、以下の通りであります。

セグメントの名称	主要製品及び商品等
飲料	野菜生活100シリーズ、トマトジュース、野菜一日これ一本、他
通販	野菜飲料、サプリメント、スープ、他
食品他	トマトケチャップ、トマト調味料、ソース、贈答品、他
加工食品	
農	生鮮トマト、ベビーリーフ等
その他	不動産事業、業務受託事業
国内事業	
国際事業	トマトの種子開発・農業生産、商品開発、加工、販売

(2) 報告セグメントの売上収益及び業績

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	国内事業					国際事業	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	加工食品	農	その他	調整額 (注1)	計			
売上収益								
外部顧客に対する 売上収益	63,678	5,353	420	—	69,451	19,365	—	88,816
セグメント間の内部 売上収益及び振替高	—	—	2	△2	—	3,213	△3,213	—
売上収益合計	63,678	5,353	422	△2	69,451	22,578	△3,213	88,816
事業利益(△は損失)	5,546	239	200	—	5,987	371	—	6,358
その他の収益								1,053
その他の費用								537
営業利益								6,874
金融収益								297
金融費用								285
税引前四半期利益								6,887

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	国内事業					国際事業	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	加工食品	農	その他	調整額 (注1)	計			
売上収益								
外部顧客に対する 売上収益	64,981	4,987	534	—	70,504	21,422	—	91,926
セグメント間の内部 売上収益及び振替高	—	2	42	△44	—	4,296	△4,296	—
売上収益合計	64,981	4,989	577	△44	70,504	25,719	△4,296	91,926
事業利益(△は損失)	5,271	100	22	—	5,394	1,720	—	7,114
その他の収益								224
その他の費用								395
営業利益								6,944
金融収益								393
金融費用								351
税引前四半期利益								6,986

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。